神大 14年ぶり 春秋連覇

最終週
第2日

　2回戦2試合が14日、横浜スタジアムで行われ、神奈川大が3－2で神奈川工大に勝利し、勝ち点を5に伸ばして54度目のリーグ優勝を飾り、14年ぶりの春秋連覇を果たした。　＝関連記事20面に

　神大と、2位桐蔭横浜大は29日から、明治神宮大会（11月9日から6日間・神宮）の予選を兼ねた横浜市長杯争奪第14回関東地区選手権（横浜スタジアム）に出場する。

　神大は2－2の八回1死二塁で4番の政井隆征（4年）の適時二塁打で勝ち越し、守護神・中野貴仁（4年）が八回から救援して逃げ切った。

　最終週第3日は15日、同スタジアムで桐蔭大－関東大の3回戦を行う。

神奈川大学野球秋季リーグ勝敗表（14日終了現在）

		神　大	桐蔭大	関東大	工　大	商　大	国　大	勝	敗	点
❶	神奈川大		●○○	○○	○○	△○○	○○	10	1	5
❷	桐蔭横浜大	○●●		●○	○○	○○	○○	8	3	3
❸	関東学院大	●●	○●		○○	●●	○○	5	5	2
❹	神奈川工大	●●	●●	●●		○○	○○	4	6	2
❺	横浜商大	△●●	●●	○○	●●		○○	4	6	2
❻	横浜国大	●●	●●	●●	●●	●●		0	10	0

※4、5位は前季の順位による

主砲V打 強打で圧倒

　「最後に試合を決めるのが4番の役目だぞ」。同点の八回1死二塁。神奈川大の4番政井は、岸川雄二監督(45)の言葉をかみしめるように打席に立った。今秋5発の大砲もこの日は3打数ノーヒット。「自分が打たなきゃ意味がない」と奮い立った。

　3球目。高めのスライダーを振り抜き、左翼フェンス直撃の二塁打。主将夏井が生還し、神大ベンチは歓喜に沸いた。

　強打の神大だ。今秋は12試合で70打点。1年梶原が2本塁打を放ち、3年富岡が指揮官の持つシーズン最多22打点に迫る19打点をマークした。

　「主軸が打てないなら誰かが代わりに打てる」（政井）ことも強み。「フルスイングが仕事」と言う7番東本は二回にこの秋の第2号を放ち、1番江越は3打席連続安打。泥くさくバットを振った先の栄冠だった。

　原動力は、春の大きな敗戦にある。3年ぶりに出場した6月の全日本大学選手権1回戦。投手陣が1失点で粘るも打線は無得点で終わり、以降は「10点取られたら11点奪いにいく意識を練習でも徹底した。力を倍にしようと鍛えてきた」と主将夏井は振り返る。

　全ては神宮での借りを返すための秋だ。「神宮に進むためこれから勝つだけ。まだまだこのチームは成長できる」（夏井）と悲願達成の熱気を関東制覇、神宮への力に変えていく。

（矢部　真太、写真も）

54度目の頂点に輝き14年ぶりのリーグ連覇を果たし、歓喜に沸く神奈川大ナイン＝横浜スタジアム

中野、完璧投球で締め

　神大は七回に守備のミスで追い付かれたが、エース右腕・中野が嫌な流れを断ち切った。

　力強い直球に鋭く落ちるフォークボールで淡々とねじ伏せていく。八回から2回連続で三者凡退。「点を取られる気が全然しなかった」とマウンドで仁王立ちした。

　今春、先発からクローザーへ転向した4年生は「自分が抑えになることが、チームの勝利に必要だと分かった」と役割に徹してきた。

　3勝を挙げた今秋は20回⅓で防御率0・885。文句なしの結果で期待に応え続け「ピンチでも緊張しない方だし、抑えに向いているのかも」と頼もしい。

　14年ぶりの連覇を「自分たちの代でできたのがうれしい」と喜ぶ。6月の全日本大学選手権は初戦で惜敗したが、「野手も投手陣も安定感が出て攻撃力も上がった。春より戦える」。雪辱を期し、再び聖地を目指す。

（織田　匠）

絶対的守護神として2イニングを無安打で締めた神大のエース中野（矢部　真太写す）

重田、粘りに納得顔

◎…神大の先発重田が6回無失点の好投で春秋連覇に大きく貢献。直球を軸にチェンジアップで緩急をつけ、四回は無死三塁の窮地をしのぎ「ピンチでも去年より粘りが出てきた」と納得顔だ。

　降板後の七回に同点に追い付かれたが、「（抑えの）中野さんなら大丈夫だと信じていた」とベンチで声をからした。今秋3勝で大車輪の働きを見せた3年生左腕は、関東地区選手権に向け「任せられたイニングは全部無失点で投げ切れるよう、最高の準備をしたい」と気持ちを新たにしていた。

常勝の歴史途絶える

◎…「昨日負けたことが全てだね。連勝して神奈川大にプレッシャーを与えたかったのに」。神大が勝ち点を獲得し、2位が確定した桐蔭横浜大の齊藤監督は悔しがった。

　過去9年連続で年1度はリーグ優勝してきた常勝軍団の歴史も途絶えてしまった。齊藤監督が「今のままでは奇跡は起こらない」と口にすれば、主将千葉も「関東地区選手権に向け、チームをもう一度まとめあげたい」と引き締めていた。

◇2回戦（神大2勝）

神奈川工大	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
神奈川大	1	1	0	0	0	0	0	1	×	3

▽2回戦（1勝1敗）

桐蔭横浜大	1	0	1	0	0	0	5	2	0	9
関東学院大	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

【工　大】		打	安	点
⑧	長　嶋	4	0	0
⑨	久　保	4	1	0
③	中　川	3	0	0
⑤	下　東	4	0	0
DH	鳥　居	3	2	0
②	高　村	4	0	0
⑦	早　坂	1	0	0
H	渡　邊	1	0	0
7	坂　田	0	0	0
④	沼　田	3	0	0
H	難　波	1	0	0
4	牧　野	0	0	0
⑥	川島健	4	1	0

振球犠併残
10 6 0 2 9 32 4 0

【神　大】		打	安	点
⑥	江　越	4	3	0
④	夏　井	2	0	0
③	伊　藤	3	1	0
DH	政　井	4	1	1
RD	渡　邊	0	0	0
⑧	梶　原	4	1	1
⑨	富　岡	4	3	0
⑤	東　本	3	1	1
R5	遠　藤	0	0	0
⑦	小　村	2	0	0
H	矢　野	1	0	0
7	中　島	1	0	0
②	奥　村	2	1	0

振球犠併残
8 3 2 1 8 30 11 3

▽本塁打　東本（林）▽三塁打　鳥居、富岡▽二塁打　奥村、政井▽盗塁　長嶋、久保、江越2▽失策　江越、東本▽捕逸　奥村▽審判　金子、須田、長谷川、田中▽試合時間　2時間20分

投　手	回	打	安	責
林	2	11	7	2
渡　邊	5⅓	20	3	1
横　賀	⅔	4	1	0
重　田	6	26	2	0
前　田	1	6	2	0
中　野	2	6	0	0

【桐蔭大】		打	安	点
⑦	佐藤靖	4	1	0
④	瀬　戸	5	2	0
DH	鈴木聖	4	1	1
HD	渡邊大	1	0	0
⑤	渡　部	3	1	1
⑨	篠　田	4	3	5
⑧	林	3	1	0
③	鹿　糠	3	0	0
⑥	中　井	4	1	1
②	大　貫	4	0	0

振球犠併残
3 12 2 0 13 35 10 8

【関東大】		打	安	点
⑧	松　井	3	1	0
⑤	江嶋大	3	0	0
⑦	河　西	4	1	1
⑨	関	4	1	1
④	冨　田	3	0	0
③	佐　藤	3	0	0
DH	古　寺	3	1	0
②	渡部優	1	0	0
H	川　端	0	0	0
2	辻村裕	0	0	0
H	東　郎	1	0	0
⑥	中　野	3	1	0
H	押　川	1	0	0

振球犠併残
6 4 3 0 7 29 5 2

▽本塁打　篠田（久保田）、鈴木聖（久保田）▽二塁打　渡部、河西、松井、林、中井、冨田▽盗塁　佐藤靖、中野▽失策　片山2、中野▽暴投　久保田▽捕逸　渡部優▽審判　土田、円垣内、坂本、柿沼▽試合時間　3時間7分

投　手	回	打	安	責
千　葉	3	13	4	2
片　山	6	23	1	0
伊　藤	3⅔	19	4	2
北　原	⅓	1	0	0
藤　崎	1⅓	5	0	0
久保田	2⅓	18	5	2
亀　里	1⅓	6	1	0